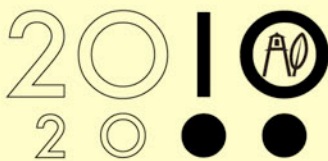


2011年 3月号 No.053

2011年3月8日発行

月刊 かわごえ環境ネット



かわごえ環境ネット

10周年 豊かな環境を未来へ

目次

地域環境活動を聴く (32) 佐野康子さん……………	2
【速報】「かわごえ環境フォーラム」開催報告……………	3-4
かわごえ環境ネットの活動報告 (2題)……………	5-6
会員・流域・行政の活動報告 (5題)……………	7-9
理事会・専門委員会からの報告 (2題)……………	9-10
おしらせ・広報委員会から・イベントカレンダー……………	10-14

毎日の買い物から「コミュニティづくりと環境」へ



川越商店街連合会通常総会

かわごえ環境ネットがスタートして10年になりました、発足の時から、自治会連合会とともに、私らの会も会員として参加し、環境にやさしいまちづくりに少しでもお役に立てばと協力して参りました。川越市の「路上喫煙の防止に関する条例」が作られる前に、クレアモール商店街で「歩きタバコをやめま

しょう」の横断幕を掲げたり、時の鐘の姿を模した灰皿スタンドを商店の前に置くようお願いしたりしてきました。

川越市が環境先進市としての諸施策を進めてきた成果でしょうか、「住んでみたい街」の希望調査で川越が県内第一のまちになったと報じられました。歴史的な文化遺産や、水と緑に恵まれた自然のたたずまいとともに、にぎやかな商店街の存在などのいろいろな要素が重なり合って、川越の好感度が高まっているようです。市民の一人として誇らしい気持ちになりました。

一方、少子高齢化社会の進展とともに、「無縁社会」という言葉をテレビや新聞でたびたび目にするようになりました。まちをあげての様々な福祉の施策も、不幸な「孤独死」があると、積み重ねた努力も泡となって消えそうな不安を感じるこのごろであります。このようなことのないように行政も市民も知恵を絞っていますが、これといった決め手はありません。地道な、いろんな分野での地域の助け合いを積み重ねてゆくほかはないと思います。

前号の巻頭言で、自治会連合会が地域の「絆」の大切さを訴えておられましたが、毎日の生活に必要な買い物を通じて自治会と商店街の連携を深めることが必要でありましょう。商店街と自治会の役員や民生委員・環境推進員などの地域の皆様方との横の連絡を密にして、市民の日常生活を助け、川越市の総合計画の目標である「生き生き川越」になり、「住みつけたいまち」になるのが“夢”であります。



地元密着の霞ヶ関北商店街

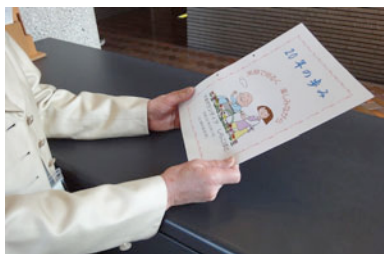
川越商店街連合会会長 金子憲二

佐野康子さん

個人会員訪問 地域環境活動を聴く (32)

今回の個人会員訪問は、小仙波町にある川越市社会福祉協議会のボランティア室に佐野さんを訪ねました。佐野さんは、週に何回かボランティア室で、福祉関係からの依頼者とボランティアとの間を調整する業務に就いています。業務の終わった後に応接テーブルを挟んでの会話は、「お久しぶりです。」と張りのある元気声から始まりました。私がいくつかのボランティア団体の保険加入手続きにたびたび伺い、様々な会話が気軽にできる方の一人です。緑のサポーターの講座が大東公民館で開催された時に、初めて顔見知りの仲になってから7年。いつも話題は、福祉に関する事が多いのですが、今日は環境活動について伺いました。

「佐野さんは、どのような事を行っていますか。」と聴き始めました。「環境ネットの監事ですが、あまりネットの活動に出られないのが申しわけないのですが・・・」と言葉を止めました。「女性団体連絡協議会の所属で監事に就任、その後、環境ネットの個人会員になり現在に至っています。」佐野さんのボランティア活動をいくつか伺いたいのですが、「そうですね、一番長く続けているのが、平成2年から始めた『大東ボランティアしらこぼと』です。」「県の鳥を会の名前にして、地域の福祉ボランティア30名が活動しています。」「会員みなさんがよく協力し合いますので、福祉関係で依頼されるボランティアは、何でも引き受けられるグループに成長しています。」「笑顔で明るく、楽しみながらをテーマにボランティア活動しています。」「20周年には、これまでの歩みをまとめた記念号の会報を



「しらこぼと20年の歩み」を手にして

「毎月、かわごえ環境ネットの会報を読ませていただいています。」「ネットの会員みなさまの環境活動には、敬服しています。」「しかし、会員活動で感じるのは、女の人が少ない集まりですね。

男の環境ロマンが見える感じです。」と男女共同参画、女性団体連絡協議会員からの感想が聴けました。「それぞれ、自分の得意分野での環境活動内容には、感心・敬服してしまうばかりです。」

「私の環境活動は、人と人のつながりの中から始めています。」「大東公民館の活動で作った女性の会、『きんもくせい』は10人の会ですが、月毎の定例会を開き、生活環境の勉強会を続けています。」「身近なエコを行う会話から始まる定例会。水道水の水は、鉛筆の太さ。茶碗洗いは手桶の貯め洗い。」「時には、渋谷の電力館への見学で見聞を広げています。」「地域活動の配食で、一人住まいで昼間の電気が点いている家には、玄関、勝手口に立ち声掛け元気確認を行います。」「今は、便利を取り入れての生活が多く、電話・パソコンで交わしている会話で、親しくなったと錯覚してしまう方が多くなっている。」「親しさは、顔を合わせて五感をフルに使っての対面会話から生まれま



エコの生活環境の活動を語る

す。」「生活環境は、主婦が長い経験で覚えたもの、言葉に付いている動作と表情でないと伝わらないことが多くあります。」「これを捨ててしまうのはもったいないと思います。」

「ボランティア活動の講演で星野高校に伺った時、生徒からの発言がありました。」「近くにある新河岸川の清掃ボランティアで、川に入っていると近所の方が見て、たいへんね・・・私も手伝うよと川に入って清掃に参加してくれました。」「一所懸命のボランティアは、人を動かすのですね。」と感想を聞かせてくれました。「やらされているより、やりますの活動は、人を動かすとアドバイスしました。」主婦歴40年と、多くのボランティア体験からの意見、持論を熱く語ってくれました。同感のうなずきが多く出た訪問になりました。

(2011年2月取材 理事・広報委員：金子晃)

【速報】「かわごえ環境フォーラム」開催報告

かわごえ環境ネットの1年の活動をまとめ、次への飛躍へつなげる今年のかわごえ環境フォーラムは、かわごえ環境ネット設立10周年記念事業として、2月19日(土)9:30~19:00に斬新な企画で開催しました。恒例の「環境活動報告会」とともに、新しい試みの「かわごえカフェ」で話し合いを深め、懇親会で10年の歴史を振り返った実りある一日でした。

午前の第1部「かわごえ環境活動報告会」に102名、午後の第2部「すみたい街 かわごえカフェ ~みんなで語ろう環境・福祉・観光など~」に92名、夜の第3部「設立10周年記念パーティー」に39名、延べ233名の方々にご参加いただきました。ご来場ありがとうございました。

終日行われる数々のイベントを移動せずにできる会場として、東洋大学の学生ホール食堂棟が利用でき、会はスムーズに進みました。

第1部「かわごえ環境活動報告会」



ふくはら子どもエコクラブの発表



みなみかぜの発表

スタッフは8時半から会場設営にあたり、160ページにわたる「かわごえ環境活動報告集」も揃い、9時半に小瀬理事長のあいさつで始まり、午前の第1部「環境活動報告会」では、9題の活動報告が行われました。

最初は、ふくはら子どもエコクラブの子供らが、活動の思いをあどけない口調で発表し、聴衆から拍手をもらいました。さらに、「いきいき田んぼ」の「みなみかぜ」や、主婦のエコ生活体験、大学生の発表など、多彩な活動が披露されました。ただ、時間が限られて質疑の時間がとれず、今後の検討課題となりました。

発表会場前には展示ブースが設けられ、5団体のポスター・実物展示が昼休みを中心に行われるとともに、本会で5月に発行を予定している『川越の自然』の寄付を受け付けました。

発表順序・発表題目・発表者

1. 『自然と農業に触れるエコ体験—ふくはら子どもエコクラブ活動報告2010—』 宮岡アイ子 [ふくはら子どもエコクラブ]
2. 『雑木林の観察を通して林の再生に取り組んで』 過昌司
3. 『田んぼ発 いきいき地域づくり —みなみかぜ いきいき田んぼの会のアルバム—』 後藤ゆかり [みなみかぜ]
4. 『温室効果ガス削減25% (90年比)、あなたの家庭は?』松岡壽賀子[ネットワーク"かけはし"川越]
5. 『地域活動を始めて』 三村正巳・小林久美 [小畔川の自然を考える会]
6. 『EMによる環境浄化活動』 上山巧・三重野義郎 [EMクリーンクラブ]
7. 『エコマネー使用期間拡大が環境イベントにもたらす影響・効果に関する研究—アースデイ・イン川越 立門前における社会実験—』 角田拓也・中口毅博 [芝浦工業大学]
8. 『まちづくりにおける情報システムの活用方法に関する研究』中川邦昭・小瀬博之 [東洋大学]
9. 『東洋大学川越キャンパスにおける電力使用量の推移及び環境配慮行動の周知に関する研究』 木村偉至・小瀬博之 [東洋大学]

ポスター・実物展示団体

1. みなみかぜ
2. ネットワーク"かけはし"川越
3. EMクリーンクラブ
4. 東京電力(株)川越支社
5. 小畔川の自然を考える会

第2部「すみたい街 かわごえカフェ」

午後の第2部は、新しい試みの「かわごえカフェ」のために参加した、本会の会員以外の方が加わりました。

最初に、進行役の飯島希(ほまれ)さんが「持続可能な街とは」とのテーマで、すみたい街の

前提となる「持続可能性」についてやさしく解説しました。続いて、元高校教諭でパンフルート奏者の江藤善章さんによる講演とミニコンサートが行われました。環境や国際交流について、「唐人揃い」などを話題に入れた講演とともに、珍しい楽器パンフルートの演奏が行われ参加者の緊張をほぐすことができました。

場所を移動して、14時過ぎからメインイベントの「かわごえカフェ」が、飯島さんの司会・進行で始まりました。



江藤善章さんの講演とミニコンサート



「かわごえカフェ」の全体セッション
「かわごえカフェ」のスケジュール

13:00-14:00 講演・ミニコンサート 飯島希さんの趣旨解説 江藤善章さんの講演・ミニコンサート
14:00-16:30 すみたい街 かわごえカフェ 第1ラウンド (30分) 第2ラウンド (30分) 第3ラウンド (25分) 全体セッション (25分)

かわごえカフェでは、「ワールド・カフェ」形式で3ラウンドの話し合いが行われました。テーマは、副題である「環境」「福祉」「観光」に

加え、「教育」「安全」も加えた五つの分野で、席はくじで決めました。本会会員のほかに、川越市女性団体連絡協議会、かわごえ環境推進員、川越青年会議所、川越市役所職員、大学生と多彩なメンバーが4人ずつのテーブルを囲みました。お互い自己紹介をしながら、決められたテーマで語り合いました。第2ラウンドでは、ホストを除いた3人が旅人として別のテーブルで話し合いを持ち、第3ラウンドで最初のテーブルに戻り、今までの話し合いを深めながら意見の集約を図りました。世代や仕事の違いなどを超えて、25～30分ずつ語り合うことは貴重な体験であったとの感想が寄せられました。

テーマごとに話し合いの簡単なまとめが発表されました。環境・福祉・観光・教育・安全のいずれも「人のつながり・近所づきあい・おもてなしの心」をどう育てるか、コミュニティづくりの大切さが最大公約数となりました。終わった後も三々五々話の続きを語り合う姿が見られ、企画の成功を感じました。

第3部「設立10周年記念パーティー」



設立10周年記念パーティー

17時から、設立10周年記念パーティーが39人の参加で行われました。元教育委員長で川越市女性団体連絡協議会会長の齋藤信子さんのあいさつで会は始まりました。かわごえ環境ネットへの思いと、10年の感想などを語り、創設の頃の苦労とともに、世代交代の今後の発展に希望を託して懇親会を終わりました。

なお、今後第1部と第2部についての詳細が寄稿されましたら順次掲載いたします。

(武田侃蔵・小瀬博之)

かわごえ環境ネットの活動報告

池辺公園の保全活動報告

自然環境部会

2月4日（金）午前9時より早春の池辺公園において、定例の保全活動を5名の方の参加で実施いたしました。

今回の保全活動は、昨秋に採取してあったキツネノカミソリの種まきと、落葉溜め造りを行いました。

作業を始める前に、キツネノカミソリの新芽が顔をだしているかを、落葉をかき分けながら確認しました。写真の通り、もう2センチほどにも伸びていました。次に、前年に蒔いたキツネノカミソリが芽を出しているかも確かめましたが、こちらは残念ながら確認できませんでした。

さて、種まきですが、今回は直播きしてみようということになって、公園の最奥部の斜面帯に蒔いてみました。どう結果が出るか数年後の楽しみです。

続いては、落葉溜め造りですが、クヌギ林のなかの窪地を選んで、落葉を集めて踏み込んで、最後に枯れ枝を集めて上に載せて完成しました。

あとはカブトムシが卵を産み付けてくれるかどうか、今夏が待ち遠しいですね。

次回は、3月にキツネノカミソリの新芽がもう少し伸びたところで、新芽周りの除草作業を行う予定です。
(大辻晃夫)



新芽が顔を出したキツネノカミソリ



斜面帯でキツネノカミソリの種まき



枯葉を集め、踏み固めて落葉溜め造り



落葉の上に枯れ枝を載せて完成です

「生ごみ堆肥化施設」「草木の土壌改良剤化」の施設見学

社会環境部会

資源化センターが動き始めて10か月、川越市の当面的ごみ問題は心配ないように見えますが、減量とリサイクルの徹底はいつそう進められなければなりません。そのなかで、生ごみの堆肥化や草木類の資源化で、先進的に取り組んでいる施設の見学会が、2月3日に資源循環推進課の主催で行われました。

参加者はかわごえ環境ネット会員とかわごえ環境推進員で、久喜宮代衛生組合の施設を最初に見学しました。この久喜宮代清掃センターは、1992（平成4）年から分別・リサイクルを進め、1997（平成9）年度には厚生大臣から「クリーン・リサイクルタウン」に選定されました。現在はさらに「ごみ」は燃やせるごみ、燃やせないごみ、粗大ごみなど7分別に、「資源」としてビン・缶、新聞、雑誌に生ごみなどを含めて8分別にしています。このシステムについて説明を受け、リサイクル率40.3%と全国平均の2倍近い数字を出した熱意を伺いました。

生ごみは「台所資源」と言って2003（平成15）年1月からモデル地区を選んで一日4.8トンの生ごみ堆肥化施設を作り、2008（平成20）年度からは「生ごみ減容化及び堆肥製造（HDMシステム）」の実験を進めました。2009（平成21）年4月から本稼働している最新施設を見学しました。

微生物の働きを利用した新しい方式で、いやな臭いも無く、ハエなどの発生もみられず、皆びっくりして

いました。次いで隣接の剪定枝堆肥化工場の破砕機械を見て、これら堆肥の熟成積み置き場を見学しました。山積みの堆肥が月日を経るごとに褐色になり、生ごみからの堆肥とまぜられて熟成された肥料は「エコ彩来」（エコさいくる）の名で優秀な有機肥料として登録されました。

午後は、越谷市にある東埼玉資源環境組合の「草木堆肥化施設」を見学しました。この組合は、5市（越谷・草加・八潮・三郷・吉川）と松伏町の88万人を対象にしている大規模施設であります。その大きな処理工場の裏の「剪定枝・刈り草堆肥化施設」を見学しました。ここは「刈り草」も処理し、「剪定枝」と混ぜて熟成させ、リユースたいひ「メチャ!!すくすく」の名で市民に販売しています。「たいひ」とありますが、成分的には「土壌改良材」のようでした。10kg当たり100円で、100kgまでの制限で販売していますが、時に品切れで要望に応えきれないこともありました。

川越市でも、資源化センターでの剪定枝チップの堆肥が4月から市民に販売されますが、配布のときの手順や機材など、担当職員にとっては参考になりました。

終わって、この組合の大処理工場の煙突に展望台が設けられているので、特に便宜を図ってもらって昇りました。田園と市街地が広がる東埼玉の景観を眺め、帰途につきました。（原嶋昇治）



清掃組合の職員からの説明



好評の有機肥料「エコ彩来」



HDMシステムで臭気無しの処理



熟成のために山積み



剪定枝をチップに裁断する



コーナーごとに熟成へ

会員・流域・関連団体の報告

「水と緑と伝統のまち川越 12回探訪・ついでにクリーン」11回目報告 クリーン&ハートフル川越

「水と緑と伝統のまち川越 12回探訪・ついでにクリーン」の第11回目は、2月12日(土) JR西川越駅改札口に集まり、6人で出発しました。前夜の雨も上がりましたが、時々小雪が舞うような薄ら寒い曇り空でした。道端のポイ捨てごみは濡れているので拾うのは止め、ビン・缶・ペットボトルなどを拾いながら歩きました。駅から水上公園への方向は新興住宅が並んでおり、近くに由緒ある白山神社がありました。境内は広いのですが、手入れが行き届かず寂れた様子でした。入間川寄りへ回ると、大きな旧家の大屋敷の近くに石碑が立っていました。聞くとこの旧家の6代前が、書と絵の達人で地元の人に教えた顕彰碑で「筆づか」とありました。昔の生涯学習の記念碑でした。

少し行くと北条時頼が創建したと伝えられる最明寺がありました。大きな観音像があり、広い庫裏と寄進された灯籠がずらりと並ぶお寺でした。

川越水上公園内は歩く人、ランニングする人と、元気なお年寄りを中心に多くの人が思い思いに体を動かしていました。市民がもっと利用しやすいように直通バスなどの便がほしい場所だと痛感しました。

公園と入間川の境の堤防を越えて、右岸のグリーンベルトを池辺公園方向に歩きました。ニワウルシの大木が何本も連なっており、素晴らしい景観でした。

関越道を越えた右岸は、産業廃棄物処理場や、モト

クロスコースと、雰囲気がガラリ変わってしまい、池辺公園の入口も目立つ標識もなく、一般市民にとっては入りにくいのではと思われました。公園には健康器具が置かれ、樹木や草の名前も書かれていて、散策コースとしてもっとPRしたいものでした。

池辺公園を出て八瀬大橋に向かう道の途中に、砂利運搬の西武安比奈線の跡と、「つばさのトロッコ跡」がありましたが「立入禁止」になっていました。

川越市の卸売市場は土曜日の特別サービスデーで、入口のレストランは混雑していました。市民の森8号地などを回り、長瀬川を探して市場裏のあぜ道と水路をたどりまわりました。市の広報で出している地図では「赤間川」となっているのは、正式には長瀬川といい、地元でもお年寄りの人はそう言っていました。4~50年前には、長瀬池があつて泳げたが、今は西武鉄道の開発でなくなつたらしいと、地元の人からはっきりしませんでした。右岸の堤防近くまで行きましたが、長瀬川らしいのは見つからず、砂利の山だけでした。

南大塚駅に近い南台の工場団地で、光村印刷の道路脇に、幹が50センチを越える立派なヒマラヤスギがずらりと並んで、市の保存樹木の標識がかけられていました。工場内には、ほかにモミジバフウやソメイヨシノなど36本が指定されています。(武田侃蔵)



生涯学習の記念碑? 「筆づか」



観音像が目立つ「永代供養所」



寄進された灯籠が並ぶ最明寺



ニワウルシの大木が並ぶ入間川右岸



長瀬池跡のまわりも砂利の山で



市の保存樹木ヒマラヤスギの列

埼玉県の「川の再生交流会」



知事を囲んで表彰された各団体の代表

「川の国埼玉」の川の再生に力を入れている埼玉県では、1月29日にさいたま市の埼玉会館で、上田知事も出席して「川の再生交流会」が

開かれ、県下から約600人の関係者が集まり、「川の守り人広げよう宣言」を採択しました。「水辺のサポーター」活動に熱心な11団体と「川の国埼玉フォトコンテスト」最優秀賞受賞者を表彰、知事から賞状を渡し、いっしょに写真に納まって激励し、活動報告があつて午前の会を終わりました。

午後は6分科会に分かれて、「地域づくり・まちづくり」「水質浄化」「生き物・生態系」「環境学習と啓発」「河川清掃などの維持活動」「川の国埼玉検定」で討議を深めました。かわごえ環境ネットからは6人が参加、各分科会に分かれて交流を図りました。
(武田侃蔵)

「川でつながる発表会」



小中高生に大学生、社会人も参加した

荒川下流河川事務所の調査課が事務局を務める「新河岸川流域川づくり連絡会」主催の「第7回川でつながる発表会」が、2月13日、北区の岩淵水門近くの「荒川知水資料館アモアホー

ル」で行われました。新河岸川流域内の小中高校生に大学生、さらに市民団体も加わり、活動発表に展示、クイズラリーと盛りだくさんのプログラムが行われました。

所沢の上山口中学校では、柳瀬川に浄化用の木炭を設置して観察した報告がありました。また、希望者は、河川事務所の小型ボートで新河岸川と荒川の合流地点付近を回り、堤防や水門を見て、治水の大切さを知る試みも行われました。今までは、福原中や砂中などが参加しましたが、今回は、川越市関係者の発表がなく残念でした。
(武田侃蔵)

水環境を考える勉強会

朝霞県土事務所の向かい側にある朝霞市リサイクルプラザ会議室で、新河岸川流域で川の再生と市民との交流に力を入れている「黒目川の景観を考える会」主催の「黒目川の景観を考える集い」が2月12日(土)に、新河岸川水系水環境連絡会主催による「新河岸川流域の水草～その生態と保護～」について、2月20日(日)

に埼玉県生態系保護協会の須藤研究員の話がありました。両日とも、熱心な関係者が集まって情報交換をしました。川越市内には安比奈親水公園がありますが、小学生が安心して魚取りから水遊びまでできる場所がありません。他市の取り組みを参考にしたいものです。

(武田侃蔵)

近隣行政の環境関連事業報告<埼玉県川越県土整備事務所>

川越市民にとって、市内の交通渋滞解消の決め手として期待されている「川越北環状線」、あるいは賑わい創出の「新河岸川の水辺再生」は、旭町にある埼玉県川越県土整備事務所の事業です。その進行状況などを聞いてきました。

「川越北環状線」は福田から星野高校までは2009(平成21年5月)に開通し、その先を進めています。川越西郵便局先の立体交差の橋脚はできましたが、JRの先で用地未買収の所もあり、2013(平成25)年完成をめざして進めています。また、川越市内で、県の「ロードサポート」に登録しているのは22団体、市の「川越クリーンパートナー」登録は16団体ですが、相互に連絡して効果的な道路環境整備が進めばと思いました。

河川では、「水辺再生100プラン」の川越市内工事は、御伊勢塚公園近くの小畔川が予定され、地元との話し合いが進められています。また、新河岸川の杉下橋から下流の水草に覆われた水面を今年度以降浚渫していく予定で、琵琶橋から清身場橋までの約800mの工事が3月末までに行われます。川越市内の「水辺サポーター」は、新河岸川で5、小畔川で2、南小畔川で1、九十川で1、新河岸川放水路及びびん沼で2、入間川で1の合わせて12団体が登録されています。また、県の水環境課所管の「水すまじクラブ」登録は4団体です。いずれも、ホームページ掲載の団体ですが、道路や川の環境整備に、市民の積極的な参加と協力が期待されています。

(武田侃蔵)

理事会・専門委員会からの報告

理事会

第11回理事会を2月25日(金)9:00-10:30に川越市役所7G会議室において開催しました。主な議事は次のとおりです。

設立10周年記念出版『川越の自然』の刊行を記念して、5月21日(土)の総会后に記念講演会を実施します(同日頒布予定)。講演会は、9:30からの総会終了後(10:30ごろ)~12:00に実施し、12:30から懇親会を実施します。

記念出版は、当初予定のページ数よりも24ページ増加して176ページになる見込みなので、再度見積もりを依頼していること、写真を提供された方に対して謝礼を行うこと、3月30日ま

で印刷所に最終版を提出することなどが報告されました。

「かわごえ環境フォーラム」は、実行委員会を3月22日に開催して総括を行うことにしました。また、次年度事業計画については、理事会開催前に正副理事長、各専門委員会代表・副代表で行う拡大企画会議を同日に行い、次回理事会でこれらの審議結果の報告を受けた上で、具体的に検討することにしました。

会員は、個人会員3名、団体会員(事業者)1団体が入会、個人会員1名が退会しました。現在の会員は171となります。(小瀬博之)

社会環境部会

3月の例会は、9日(水)に参加者11名で行われました。今月は、2つの大きな課題について討議しました。

ひとつは、当部会主催の3月31日(木)に行われるトピック講座「私たちの生活と世界の食糧事情」を横浜市立大学 上村雄彦准教授にお願

いしました。内容については、部会に出席した全員で意見交換を行い、先進国の企業が熱帯雨林を開拓して、先進国向けの穀物・野菜などを輸出し、使用後は荒地のまま放棄され、地元住民には何のメリットもなく、貧困にあえいでいる実情と問題点を提起して我々に考えさせる内

容になるよう上村さんに要望を出すことにしました。また、満席にするには、社会環境部会一丸となって対面集客を行い、各方面に働きかけたらよいか討議しました。

今一つは、来年度の活動基本計画の策定について討議しました。基本的なテーマとしては、本年度同様、3本柱を中心に活動することにしました。基本方針としては、より一層の協働の拡大を推進します。本年度は、環境政策課と行った「エコドライブ教習会」、資源循環推進課と行った「廃棄物減量化」、埼玉県水辺再生100選関連の活動、新河岸川の清掃・整備活動など成果をあげています。行政並びに関連NPO法人

などとの協働推進により、より大きな成果を創出する活動に展開し、かわごえ環境ネットの活動の活性化を行い全員の積極参加を求めていく活動を推進するよう意見交換を行いました。まだ十分な合意が得られたわけではないので、引き続き部会で討議することにしました。

その他、

- ・かわごえカフェの参加要請と準備作業
- ・浜尾さんから台所の残材は、よく水を切る（ネットに入れ天日干しにする）とCO₂削減に。
- ・船橋さんより最近話題の原子力発電所（柏崎）の見学会を企画したので参加くださいとのこと。
(社会環境部会代表 原嶋昇治)

お知らせ

トピック講座 ～持続可能な社会を築くため～「私たちの生活と世界の食糧事情!？」

途上国の貧困と飢餓!そして環境破壊!

それは 先進国の私たちが原因だった!!

その現実を体感した上村さんが

川越に住む私たちに問う!

～この講座が私たちの進む方向の参考になれば
幸いです～

日時：3月31日(木) 13:30-16:00

場所：川越市立中央図書館3階「視聴覚ホール」

(川越市三久保町2-9, Tel.049-222-0559)

講師：上村雄彦氏(横浜市立大学国際総合科学部 准教授、国際化推進センター長)

講師経歴：1965年大阪生まれ。大阪大学大学院法学研究科修士課程、カールトン大学大学院国際関係研究科修士課程修了。博士(学術、千葉大学)。カナダ国際教育局カナダ・日本関係担当官、国連食糧農業機関(FAO)住民参加・環境担当官、千葉大学大学院人文社会科学研究所、地球福祉研究センター准教授等を経て現職。

※ NHK 教育テレビ「白熱教室 JAPAN」に出演、日本の大学の対話型の授業を4回にわたって放映。

著書に、『世界の貧困問題をいかに解決できるか』(現代図書)、『世界から貧しさをなくす30の方法』(合同出版)、『おカネで世界を変える30の方法』(合同出版)、ほか多数

交通：西武本川越駅より徒歩15分

バス：川越駅東口駅前広場より東武バス1番乗り場「神明町車庫」行き乗車→「仲町」下車徒歩5分(川越郵便局となり)

定員：100名(申込順)

※会費は無料、終了後、講師を囲んで懇親会を行います(お茶代実費)。

主催：かわごえ環境ネット・社会環境部会

申込先：かわごえ環境ネット事務局(川越市環境部環境政策課環境推進担当)

Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800

本会が「さいたま環境賞」を受賞。3月22日に表彰

埼玉県の「第12回さいたま環境賞」の「県民部門」にかわごえ環境ネットの活動が高く評価され、表彰の通知がありました。3月22日(火)

の16時から、知事公館で上田知事から表彰状が贈られます。小瀬理事長と横山副理事長が授賞式に参加します。

「新河岸川一斉清掃」を3月20日（日）に実施

新河岸川の再生を景観の視点で見直している「新河岸川広域景観づくり連絡会」の呼びかけで、3月20日9:30から2時間の予定で、川越市から和光市までの市民団体が、新河岸川の一斉清掃に取り組むことになりました。川越市内では、野田町の新河岸川基点から川崎橋先までを8区分に分け、自治会や建設業、さらに水辺サポーターなどの環境団体に呼びかけ、桜祭り

の前に新河岸川の周りをきれいにするようになりました。

かわごえ環境ネットからの呼びかけ人はクリーン&ハートフル川越の武田が担当し、各方面への折衝に当たっています。17日までに参加希望者はご連絡を携帯（Tel.090-2521-5770）までお願いします。（武田侃蔵）

かわごえ環境ネット主催行事一覧（記号の凡例はイベントカレンダーをご参照ください）

●社会環境部会（2011年3月度）

日時：3月9日（水）15:00-17:00

場所：川越市役所本庁舎7G会議室

今回は4月8日（金）13:00-15:00。4月から、毎月第2金曜日の13:00-15:00開催となります。

◆広報委員会（2011年3月度）

日時：3月10日（木）9:00-10:00

場所：川越市役所本庁舎5階フリースペース

（川越市元町1-3-1）

●自然環境部会（2011年3月度）

日時：3月11日（金）15:00-17:00

場所：川越市役所本庁舎7G会議室

今回は4月8日（金）15:00-17:00。来月から、社会環境部会に続けての開催となります。

4月の場所は福田ビル3階会議室

★（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査

日時：3月15日（火）9:30-12:30

場所：川越南文化会館（ジョイフル）

（川越市今福1295-2）

問い合わせ：賀登（049-234-9366）

事前連絡はいりません。今回は4月11日（月）同時間。4月から毎月第2月曜日が定例活動日になります。

◆設立10周年記念事業実行委員会（第13回）

日時：3月22日（火）9:30-10:30

場所：川越市役所本庁舎（7B会議室）

◆拡大企画会議

日時：3月22日（火）10:30-12:30

場所：川越市役所本庁舎7B会議室

◆理事会（2010年度第12回）

日時：3月23日（水）9:00-10:30

場所：川越市役所電算棟3階分室B会議室

◆かわごえアジェンダ21推進委員会（2010年度第3回）

日時：3月23日（水）10:30-12:00

場所：川越市役所電算棟3階分室B会議室

★トピック講座 ～持続可能な社会を築くため～「私たちの生活と世界の食糧事情!？」

日時：3月31日（木）13:30-16:00

場所：川越市立中央図書館3階「視聴覚ホール」

（川越市三久保町2-9, Tel.049-222-0559）

講師：上村雄彦氏（横浜市立大学国際総合科学部 准教授、国際化推進センター長）

詳細は前のページをご覧ください。

★（仮称）川越市森林公園計画地「雑木林の花見（観察会）」

日時：4月23日（土）9:30-12:30

集合場所：川越南文化会館（ジョイフル）

（川越市今福1295-2）

内容：新緑の雑木林でウワミズザクラ、スマレなどの観察

対象：一般

定員：30名

経費：100円

申し込み：環境政策課（Tel.049-224-5866）へ

会員・関係団体の主催行事

●福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子 (Tel.049-246-9319)

☞おいしく・楽しく農業体験

◆3月12日(土) 9:30からの作業

雑木林の手入れ、あそぼうパン、スープ

◆4月9日(土) 9:30からの作業

畑仕事、ほうれん草の収穫

集合：明見院 (川越市今福 677)

クラブ会費：1家族1,000円(保険代・備品代等)、クラブ員でない参加者は1人100円(保険代)とします。

●特定非営利活動法人

武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子 (Tel.049-224-9118)

☞森林公園かんさつ会

公園南口休憩所 10:20頃集合、15:00頃迄参加費200円、入園料大人400円、65歳以上200円。昼食、観察用具、雨具持参。雨天決行。

◆3月24日(木) 当会主催

見所：トウキョウサンショウウオの生息地や水辺の生き物を観察します。アマナ、アオイスミレの花も見ごろです。植物の解説は太田先生。

◆4月3日(日)・20日(水) 当会主催

見所：新緑の中で、野鳥の囀りやシュンラン、タンポポ等の野草を楽しみます。花に集まる昆虫類を観察します。植物の解説は大田先生です。

●クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：武田侃蔵

(Tel.090-2521-5770, Fax.049-222-0786)

☞「やめましょう!歩きタバコ・ポイ捨て・放置自転車」のゼッケンをつけて、まち美化啓発運動

1. 第1火曜日・第3木曜日 (13:30-15:00)

◆3月1日(火)・17日(木)

◆4月5日(火)・21日(木)

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

2. 第2日曜日 (9:30-11:00)

◆3月13日(日)・4月10日(日)

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

3. 第4土曜日 (13:30-15:00)

◆3月26日(土)・4月23日(土)・

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

4. 「水と緑と伝統のまち川越 12回探訪・ついでにクリーン」第12回

◆3月19日(土) 9:00-15:00

昨年4月から続けた活動も最終回になりました。9:00東武東上線川越市駅交番前集合。赤間川公園、今成から川越北環状線、八咫神社、下寺山渡し跡、平塚橋、小畔川左岸、越辺川との合流、伊草の渡し跡、落合橋、バスで本川越駅へ。15:00解散予定。参加の方は3月15日までに武田 (Tel.090-2521-5770) まで連絡を。

●(財)埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一 (Tel.049-222-0957)

☞伊佐沼探鳥会

時間：10:00集合-12:00(小雨決行)

集合：伊佐沼の西側にある東後楽会館入口近くの蓮見橋

持ち物：筆記用具、あれば双眼鏡

参加費：300円、高校生以下100円

(保険料・資料代として)

◆3月13日(日)

伊佐沼の「水辺再生工事」の2年目も今月末で終わります。生態系によい結果が期待されます。春もそこまで来ています。鳥はさえずりを始め、野草も芽を出してつぼみが膨らみ、花が咲き出します。早い春を楽しみましょう。

◆4月10日(日)

新緑の伊佐沼は、4ヶ月余の工事も終わり、しばらくぶりに水を満々とたたえています。バードウイークを前にお出でをお待ちしています。

広報委員会から

●【会員でない方へ】私たちと「かわごえ環境ネット」でいっしょに活動しませんか？

私たちは、かわごえの環境をよくするために行政をはじめとするさまざまな団体と協働して活動を行っています。

個人会員は年会費 1,000 円、5 名以上の団体・事業者は、年会費 2,000 円で、本誌の送付などのサービスが受けられます。

また、さまざまな活動に参加することができ、社会での活動の場が広がります。新年度に向けて、かわごえ環境ネットの仲間になりませんか。

特に会社を退職された方や子育てを終えて、社会活動を行いたいと考えている方、やりがいのある事業がたくさんあります。入会についての詳細は、かわごえ環境ネット事務局（川越市環境政策課環境推進担当、川越市役所本庁舎 5 階、Tel.049-224-5866）へ問い合わせ、またはかわごえ環境ネットホームページ（<http://kawagoe.kankyo.net>）をご覧ください。

●本誌への投稿をお待ちしています。

本会会員をはじめとして、川越における環境活動報告や主張などの記事をぜひお寄せください。写真の掲載も可能です。また、本会会員や関連団体等がこれから実施する公開イベント等の情報の掲載等も受け付けています。

2011 年 4 月号（No.054、3 月下旬～4 月上旬発行予定）の掲載原稿は、3 月 14 日（月）事務局必着です。電子データでいただけると助かります。詳しくは、かわごえ環境ネット事務局までお問い合わせください。

●会員ブログでリアルタイムに情報発信

かわごえ環境ネットでは、「会員ブログ」を設置して、会員自らの情報発信を支援しています。自分のブログを持っていないのだけれど、ブログに投稿してみたい、会員に情報を伝えたいというあなたの投稿をお待ちしています。ブログの投稿には、ユーザー登録が必要になります。ユーザー登録の方法は、<http://kawagoekankyo.net/member/cat68.html> をご覧ください。

●編集後記

◆2 月は、かわごえ環境フォーラムをはじめとして行事が立て込んでいたうちに、28 日であった間に月が終わってしまい、会誌の発行が遅れてしまいました。たいへん申しわけございません。

かわごえ環境ネットは、徐々に会員を増やしています。ネットワークが広がっている中で、さらに大きなネットワークを作って、望ましい環境像の実現をめざしていきたいと考えています。現在会員となっている方は、引き続き会員をご継続ください。会費の請求と総会の通知を後日送付しますので、ご対応をよろしくお願いいたします。

さて、数年にわたって実施を検討してきた 10 周年記念事業も、いよいよ出版事業を残すのみとなりました。5 月 21 日（土）川越市立博物館での総会（9:30-10:30）の付随行事として、出版記念講演会（10:30-12:00）と懇親会（12:30-14:00 ごろ）を開催しますので、ふだん行事や部会等に出席されていない会員の方もぜひ足を運んでいただき、交流を持ちたいと考えています。こちらもよろしくお願いいたします。（こせ）

◆節目の「かわごえ環境ネット 10 周年記念フォーラム」が好評のうちに終わりました。メインの「かわごえカフェ」では、幅広い市民の方々が参加していただきました。率直な話し合いの時間が持てましたが、このうねりが今後とも続くような機会を工夫したいものです。

その第一弾になるかもしれませんが、社会環境部会と自然環境部会の例会を、来月の 4 月から、第二金曜日の午後、同じ会場で、午後 1 時から連続して開くことになりました。最初に社会環境部会が、午後 3 時から自然環境部会が開かれます。市役所前の福田ビルの 3 階です。ご都合つく人はできるだけ両方に参加されて、環境活動の連帯の輪を広げたいものです。「住みたいまち」への思いは同じでも、肌合いの違う自然派、社会派の融合が期待されます。（KT）

イベントカレンダー (3月9日~4月30日)

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他 詳細は個別の記事をご覧ください。			9 ●15:00 社会 環境部会	10 ●9:00 広報委 員会	11 ●15:00 自然 環境部会	12 ◎9:30 おいしく 楽しく農業体験
3/13 ◎9:30 まち美 化啓発運動 ◎10:00 伊佐 沼探鳥会	14 ○本誌4月号 原稿必着	15 ★9:30 (仮称) 川越市森林公 園計画地 植 物調査	16	17 ◎13:30 まち 美化啓発運動	18	19 ◎9:00 水と緑と 伝統のまち川越 12回探訪・つい でにクリーン
3/20 ◎9:30 新河岸 川流域一斉清 掃	21 春分の日	22 ◆9:30 設立10 周年記念事業 実行委員会 ◆10:30 拡大 企画会議	23 ◆9:00 理事会 ◆10:30 かわご えアジェンダ2 1推進委員会	24 ◎10:20 武蔵丘 陵森林公園か んさつ会	25	26 ◎13:30 まち 美化啓発運動
3/27	28	29	30	31	4/1	2
4/3 ◎10:20 武蔵丘 陵森林公園か んさつ会	4	5 ◎13:30 まち 美化啓発運動	6	7	8 ●13:00 社会 環境部会 ●15:00 自然 環境部会 福田ビル3階	9 ◎9:30 おいしく 楽しく農業体験
4/10 ◎9:30 まち美 化啓発運動 ◎10:00 伊佐 沼探鳥会	11 ★9:30 (仮称) 川越市森林公 園計画地 植 物調査	12	13	14 ○本誌5月号 原稿必着	15	16
4/17	18	19	20 ◎10:20 武蔵丘 陵森林公園か んさつ会	21 ◎13:30 まち 美化啓発運動	22	23 ★9:30 (仮称) 川越市森林公 園計画地「雑 木林の花見 (観察会)」 ◎13:30 まち 美化啓発運動
4/24	25	26	27	28	29 昭和の日	30

月刊 かわごえ環境ネット 2011年3月号 No.053

発行日 2011年3月8日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoe.kankyo.net/>